野生鳥獣の肉・皮・骨等を有効活用した食品以外の多用途利用の取組事例

令和７年３月

農林水産省 農村振興局
鳥獣対策・農村環境課 鳥獣対策室

皮革の活用事例

古川建設（株）ドリームヒル・トムラウシ　北海道新得町

エゾシカのクラフト製品

革製ティッシュカバーのクラフトキット

写真出典：ドリームヒル・トムラウシ

- 「森とエゾシカと人の共生」を求めて、肉だけでなく、皮や角をクラフト製品やオブジェに加工するなど、可能な限り有効活用
- オンラインでの販売や学校・地域で取り組むクラフト教室で利用

（一社）伊達市農林業振興公社　福島県伊達市

イノシシ革製品

（左）ファーストシューズ
（右上）キーホルダー
（右下）ネームホルダー

イノシシ革ワークショップ

写真出典：伊達市農林業振興公社

- 東京電力福島第一原発事故の影響により食肉利用ができなくなったイノシシの皮を革製品として有効活用
- 革製品は新ブランド「ino DATE」として販売し、地元企業によるネームホルダーの採用など地域に根差した支援の輪が拡大
- 県内外でイノシシ革を使ったワークショップを開催、オリジナル製品づくり体験を実施

丹波山村ジビエ肉処理加工施設　山梨県丹波山村

甲州印伝商品

甲州印伝スリーブ付きカップ

写真出典：（株）アットホームサポーターズ

- 山梨県産シカ革として、甲州印伝（シカ革に漆で模様付けした山梨の伝統工芸品）の素材として利用
- スターバックスの「JIMOTO made Series」（日本各地の産業・素材を取り入れた商品開発を行い、その地元の店舗のみで販売する取組）とコラボした商品の素材として利用

ジビエール五條　奈良県五條市

純鹿セーム革

鹿膠

修復前　修復後

鹿膠による掛け軸の修復

写真出典：（左）五條市、（中・右）（一社）日本文化資産支援機構

- シカの皮をセーム革として製品化（メガネ拭き等）、地元の道の駅での販売、ふるさと納税の返礼品として採用
- （一社）日本文化資産支援機構は、ジビエール五條より提供を受けたシカの皮から薬剤不使用な製法により淡色透明な古典的膠【にかわ】を製造し、文化財の修復・保護に取り組む

農水省鳥獣対策・農村環境課が、関係者への聞き取り等を参考に作成

皮革の活用事例

kagaribi　東京都墨田区

絞り染めシカ革のクッションカバー

絞り染めのシカ革を使用した鞄とブックカバー

写真出典：kagaribi

- シカ革の特徴でもある柔らかさを生かし、１つ１つ手染めをした「絞り染め」にこだわった商品を考案
- 柔らかいシカ革でしか表現できない「模様」をつけることで、世界に１つの「シカ革藍染絞りの革」となり、小さな傷は目立たず、更に手間をかけてパッチワークの商品にすることで大きな傷は避けながら最大限革を無駄なく利用することが可能

ha.mon　神奈川県横浜市

イノシシ革とシカ革の胸章

シカ革のコサージュ

写真出典：ha.mon

- シカの皮が廃棄されている現状を知ったことをきっかけに、駆除されたシカ革製品の制作を開始
- シカのヌメ革を裁断し自ら染色し、革の風合いを生かしつつ異素材と組み合わせたレザーフラワーを製作

GIBIer Soap 合同会社　長野県佐久市

シカ革のフェイスクロス

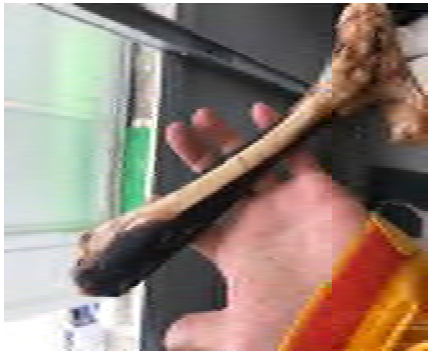
イノシシ脂を使用したクリームと石鹸

写真出典：GIBIer Soap合同会社

- シカの革やイノシシの脂の性能に着目し、シカ革のフェイスクロスの他、イノシシ脂を使った石鹸やクリームを製品化
- フェイスクロス用の革は重金属を含まない鞣し剤を使用した「白鞣し」を行うことで、環境にもやさしい。また、革についた傷を避けてカットし製造することで無駄なく有効活用が可能

骨の利活用例

DEER BASE izu しかまる　静岡県伊豆市


骨付き肉のジャーキー

あばら骨ジャーキー

写真出典：DEER BASE izu しかまる

- 伊豆市内で有害捕獲されたシカを有効活用するため、ペットフード専用の処理加工施設として設立
- 骨付き肉のジャーキーやあばら骨ジャーキー等の製品に加工し、店舗とオンラインで販売

（株）メリケンヘッドクォーターズ　兵庫県神戸市

ヤブイヌへのシカ骨の給餌
（神戸どうぶつ王国）

シカ骨灰を活用した陶器やシカ革製品

写真出典：㈱メリケンヘッドクォーターズ

- 兵庫県のシカ肉・シカ皮・シカ角・シカ骨、全ての部位の流通を確立した「ニホンジカまるごと１頭有効活用」のパイオニア
- 県内各所の処理加工施設を巡回・回収したシカ骨を加工、活用した陶器の開発・販売。動物園での飼料としても活用

角の活用事例

猟師工房ランド　千葉県君津市

シカ角のアクセサリー

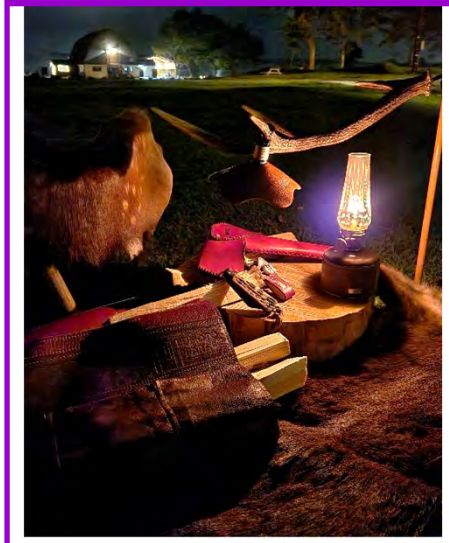
シカ角のメタルマッチ

シカ角を利用したキーホルダー製作

写真出典：猟師工房ランド

- 捕獲されたシカ、イノシシなどを肉、皮・骨・角に至るまで可能な限り有効活用し、食肉、ペットフード、クラフト製品などを販売
- 店舗では、角を利用したキーホルダーの製作体験を実施

（株）ふもとっぱら　静岡県富士宮市



- 捕獲されたシカを地域資源として有効活用するため、食肉やペットフードとしての利用だけでなく、角や革を用いたキャンプ用品などを、自社キャンプ場の利用客からのセミオーダーを中心に製造し販売

シカ角を活用したハンガー、キーホルダー
シカ革を活用したログキャリー、ランプシェード、ガス缶カバー、手斧カバー、キーホルダー
シカ毛皮を活用したチェアカバー、ラグ

写真出典：（株）ふもとっぱら

農水省鳥獣対策・農村環境課が、関係者への聞き取り等を参考に作成

被毛の活用事例

（有）オイカワデニム　宮城県気仙沼市

エゾシカの毛、ウール、ナイロンを混紡した糸を開発

最適な伸縮性など、スタジャン素材として優れた生地を開発

新素材を使ったスタジャン

写真出典：藤巻百貨店

- エゾシカの毛の再利用のため、東北大学との共同研究でエゾシカの毛を混合した新素材を開発し、スタジアムジャンパーを製作
- 胴体部分に新素材、腕部分にシカ革を使用し、保温効果アップと軽量化を実現

文学堂製筆（株）　広島県熊野町

エゾシカの筆（書道・水墨画用）

伝統的な製法による熊野筆の製造（火のし・毛もみの工程）

写真出典：筆匠健蔵

- 各種獣毛を用いた伝統的工芸品である熊野筆を製造・販売
- エゾシカの毛皮を仕入れ、部位ごとの特性を見極めながら１本ずつ選毛する等、伝統的な製法によりエゾシカの筆を製造

肥料・飼料への活用事例

（株）布川産業　新潟県胎内市

イノシシ毛皮の尻当て

クマ毛皮の尻当て

フライフィッシング用の毛針材料（シカ毛）

写真出典：（株）布川産業

- シカ、イノシシ、クマ等各種毛皮のなめし加工を請け負い、職人が毛皮の状態を見極めながら最適な方法で処理
- 山登り用の尻当てやマフラー等への加工のほか、シカの白毛は中空構造を生かし、フライフィッシング用の毛針材料として販売

（株）イノＰ　熊本県宇城市

処理加工施設に設置した野生鳥獣の減容化装置

約５時間でほぼ無臭の粉末になる

写真出典：くまもと☆農家ハンター

- 捕獲したイノシシを一切無駄にしないことを目指し、食肉用ジビエやペットフードだけでなく、石鹸、革製品などを製造・販売
- ジビエ利用に向かない個体や残渣を減容化装置に投入・堆肥化し、畑に還元する農家ハンターエコサイクルを構築

農水省鳥獣対策・農村環境課が、関係者への聞き取り等を参考に作成

動物園・水族館でのエサとしての活用事例（「と体給餌」を含む）

ジビエ工房茂原（千葉県茂原市） × 千葉市動物公園（千葉県千葉市）

イノシシの毛皮・骨付き肉（後肢）

ライオンへの「と体給餌」

写真出典：（左）ジビエ工房茂原、（右）千葉市動物公園

- 「ALSOK千葉」が運営する処理加工施設は、千葉県内で捕獲されたイノシシを「と体給餌」（毛皮や骨が付いた、ほぼそのままの状態で飼育動物に給餌すること）として動物園へ提供
- 動物園ではライオンなどの「と体給餌」に必要な資金をクラウドファンディングで募集し、有害鳥獣問題の教育イベント等を実施

（株）野生動物命のリレーPJ（愛知県東栄町） × 豊橋総合動植物公園（愛知県豊橋市）

「と体給餌」専用処理施設

ライオンへの「と体給餌」

写真出典：豊橋総合動植物公園

- 東栄町で捕獲されたシカなどを有効活用するため、「と体給餌」専用処理施設で低温加熱殺菌処理を施し、動物園に提供
- 動物園での「環境エンリッチメント」への活用とともに有害鳥獣問題の教育としても「と体給餌」のイベントを実施

糸島ジビエ研究所（福岡県糸島市） × 男鹿水族館GAO（秋田県男鹿市）

処理加工施設での「と体給餌」用処理

ホッキョクグマへの「と体給餌」

写真出典：（左）糸島ジビエ研究所（右）男鹿水族館GAO

- 「と体給餌」の取組を推進する「ワイルドミートズー」の理事として低温加熱殺菌処理を確立。先駆者として全国の動物園・水族館、十数か所約100例に、「と体給餌」用のエサを提供
- 新たに「と体給餌」に取り組む処理加工施設向けに技術研修、処理用設備の助言なども行っている

宇佐ジビエファクトリー（大分県宇佐市） × 九州自然動物公園アフリカンサファリ（大分県宇佐市）

処理加工施設での解体処理

トラへの骨付き肉の給餌

写真出典：（左）宇佐ジビエファクトリー、（右）九州自然動物公園アフリカンサファリ

- 「ジビエの地産地消」を目標に、衛生上の問題はないが、匂いが強いなど食肉には向かないシカの骨付き肉をライオン等肉食獣のエサとして、地元の九州自然動物公園アフリカンサファリに提供

農水省鳥獣対策・農村環境課が、関係者への聞き取り等を参考に作成

油脂の活用事例

（株）北海道えぞ鹿ファクトリー　北海道札幌市

犬用の保湿クリーム

ワンちゃんへの保湿クリームの使用

写真出典：（株）北海道えぞ鹿ファクトリー

- 工場がある白糠町近郊で有害捕獲されたエゾシカの有効活用のため、食品やペットフードだけでなく、シカの油を使った犬用の保湿クリーム（鼻・肉球ケア）を開発・製造
- オンラインでの販売や、ふるさと納税の返礼品として採用

香りの教室　帆南【はんな】　高知県田野町

犬用の保湿クリーム

写真出典：香りの教室　帆南

- イノシシの油は肌に浸透しやすく保湿成分を含むことに着目し、犬用の保湿クリーム（肉球ケア）を開発・製造
- 帆南での販売や、ふるさと納税の返礼品として採用